

タンポポ調査・西日本2015調査説明会(一般向)のご案内

- ① 日時 2015年3月1日(日) 10時～12時、雨天決行
② 会場 長居公園・大阪市立自然史博物館集会室
③ 集合 午前10時「長居公園内、長居植物園入口」→自然史博物館集会室へ移動
(地下鉄御堂筋線「長居」、または、JR阪和線「長居」下車、徒歩約10分)

④ 日程と内容

9時30分～ 受付開始 10時～ 受付後、自然史博物館集会室へ移動

10時10分～ 開会のあいさつ(武田義明副代表)

2014年春の調査結果の報告

2015年春の調査にむけて(調査方法の説明など)

11時30分～ 長居公園内でタンポポウォーキング。調査方法やタンポポの見分け方・調査用紙への記入方法を現地で説明

11時50分～ 質疑応答・まとめ

12時頃 解散予定

※ なお、当日午後は引き続いて、調査スタッフ向けの講習会があります。

調査に関心のある方は、ぜひこちらにもご参加ください。

<午後の部の概要>

1) 日時 3月1日(日) 13～16時

2) 場所 大阪市立自然史博物館実習室(午後より参加の方は博物館職員通用口から「タンポポ講習会参加」と申し出て入館下さい。)

3) 日程 13時～ 第3回実行委員会(議事、各府県からの報告、今後の予定の確認)

14時～ 調査講習会(スタッフ向け)

・調査実施要項(スタッフ向け)の説明……木村

・タンポポの見分け方……鈴木(識別に困っている頭花をご持参ください)

・花粉の顕微鏡観察実習・データ入力方法について……小川

15時30分～16時 質疑応答、解散



<タンポポ調査・西日本2015とは？>

私たちは2014～2015年に西日本全域でのタンポポ調査を計画し、この調査への参加を呼びかけています。この調査で在来種と外来種のタンポポの分布を調べることを通して、参加者に身近な自然環境へ関心を持っていただくとともに、1970年代から行なわれてきた調査の結果と比較することで、タンポポを指標として自然環境の変遷を明らかにしたいということです。また、今回の調査では、西日本に分布する多様な在来種タンポポの分布状況を把握するとともに、近年分布を拡大している在来種と外来種との雑種タンポポについても調査を行います。

1970年代から各地で実施されてきたタンポポ調査は、2005年に近畿全域で、2010年には西日本19府県でと拡大して来ました。今回は、再度同じ地域で調査を行い、5年間の変化をとらえたいと考えています。すでに2014年春にも調査を実施し、20000点を超えるデータが集まっています。3月1日には上記の日程で、実際に長居公園をいっしょに歩きながら、タンポポの見分け方や雑種の特徴・調査方法についてくわしく説明するための説明会を計画しました。初めての方も参加していただけますので、奮ってご参加ください。なお、調査に関する詳しいことは、下記のホームページをご覧ください。

主催：「タンポポ調査・西日本」実行委員会(代表：布谷知夫・三重県立総合博物館長)

連絡先：事務局(木村進・高畠耕一郎・宮田修・鈴木武・小川誠・狩山俊悟)

公益社団法人 大阪自然環境保全協会内(TEL: 06-6242-8720 / FAX: 06-6881-8103)

〒530-0041 大阪市北区天神橋1-9-13 ハイム天神橋202

e-mail: tampopo★nature.or.jp (★を@に変換)

ホームページ: <http://gonhana.sakura.ne.jp/tampopo2015/>